

# 非医療職のための医療的ケア研修

第2期横浜市障害者プラン(計画期間:平成21年度～26年度)では、「将来にわたるあんしん施策」の一環として「在宅生活を支えるための医療的ケア対応の推進」を掲げています。また、厚生労働省では、たんの吸引等の医療的ケアを非医療職(生活介護事業所の生活支援員等)が実施できるよう検討を進めているところです。

このような状況を踏まえて、横浜市では、(福)十愛療育会と協力して、市内の事業所等を対象として医療的ケアに関する研修を実施します。

なお、この研修は、医療的ケアに関する基本的な知識の取得を目的としたもので、主治医・医療機関との連携、利用者、家族との契約等医療的ケアを実施するにあたっての留意点や課題を共有することを目指します。

「横浜市障害者プラン」から抜粋

推進項目	その内容	想定されるスケジュール		
		H21	H22	H23
在宅生活を支えるための医療的ケア対応の推進	医療的ケアを要する障害者が安心して地域生活を継続できるよう、ケアホームや日中サービスでの医療的ケアについて、看護職以外の対応のあり方や必要な研修について、先行事例を踏まえた検討や国への働きかけを行います。	あり方、必要な研修等の検討	事業実施	推進・充実

## 【実施内容】

日程		時間	会場	定員
第1日	平成23年1月15日(土)	9:00～17:30	たちほどがやホール	70人
第2日	平成23年1月22日(土)	9:00～17:15	横浜療育医療センター	40人

- 1日目と2日目は内容が異なります。1日目は講義形式、2日目はグループに分かれて実技研修を行います。カリキュラムは裏面を参照してください。
- 2日間とも上履き、昼食を持参してください。
- 2日目は実技研修なので動きやすい服装で参加してください。
- 2日目のみの受講はできません。
- 開場・受付は15分前から行います。車での来場はご遠慮ください。

## 【対象】

市内の障害者支援施設、生活介護事業所、ケアホーム、障害者地域活動ホーム、地域活動支援センター、地域作業所で働く非医療職の職員

## 【申し込み方法】

別添の申込書に必要事項を記入し、申込期限までにファクスまたはe-mailで横浜市健康福祉局障害支援課在宅支援係まで送信してください。

申込期限：平成22年12月10日(金)

\*応募多数の場合は調整をさせていただきます。

## [問い合わせ・申し込み先]

横浜市健康福祉局障害支援課在宅支援係  
電話671-2416 FAX671-3566  
e-mail: kf-syoshien@city.yokohama.jp

【第1日 平成23年1月15日（土）】

会場：たちほどがやホール 定員：70人

1日目は講義形式で行います。

時間	テーマ・講師（所属）	
9:00～ 9:15	開講・オリエンテーション	15分
9:15～ 10:45	重症心身障害児者医療の基礎知識 講師：横浜療育医療センター医師	90分
10:45～ 11:15	てんかんについて 講師：横浜療育医療センター医師	30分
11:15～ 12:15	重症心身障害児者医療の問題点と課題（主に摂食と呼吸に関して） 講師：横浜療育医療センター医師	60分
12:15～ 13:15	昼食・休憩	60分
13:15～ 14:00	医療的ケアを必要とする人の地域生活の現状 講師：調整中	45分
14:00～ 14:45	在宅における医療的ケアの実践 講師：調整中	45分
14:45～ 15:00	休憩	15分
15:00～ 15:45	医療的ケアの法的課題と今後の展望 講師：横浜市健康福祉局障害支援課	45分
15:45～ 17:30	グループワーク：医療的ケアを実施するうえでの課題及び意見交換 アドバイザー：横浜療育医療センター職員ほか	105分

【第2日 平成23年1月22日（土）】

会場：横浜療育医療センター 定員：40人

2日目は6～7人のグループに分かれて実技研修を行います。

時間	テーマ・講師（所属）	
9:00～ 10:30	摂食障害への対応 講師：横浜療育医療センター言語聴覚士	90分
10:30～ 12:00	呼吸障害・排たん障害への対応 講師：横浜療育医療センター理学療法士	90分
12:00～ 13:00	昼食・休憩	60分
13:00～ 14:30	実習① 注入の実際 講師：横浜療育医療センター看護師	90分
14:30～ 14:45	休憩	15分
14:45～ 16:15	実習② 喀たん吸引の実際 講師：横浜療育医療センター看護師	90分
16:15～ 17:15	グループワーク：実技研修を終了しての質疑応答とまとめ アドバイザー：横浜療育医療センター看護部	60分

【会場案内図】

\*車での来場はご遠慮ください。



○相鉄線 和田町駅から

「新桜が丘団地」行 「県公社住宅前」下車  
 たっちほどがや 徒歩6分  
 横浜療育医療センター 徒歩2分

○相鉄線 二俣川駅から

「左近山第6」行 または 「東戸塚西口」行 「左近山第6」下車  
 たっちほどがや 徒歩14分  
 横浜療育医療センター 徒歩6分

○J R 東戸塚駅西口から

「二俣川駅」行 「新桜が丘保育園」下車  
 たっちほどがや 徒歩12分  
 横浜療育医療センター 徒歩5分

たっちほどがや  
 横浜市保土ヶ谷区仏向町1600-2  
 TEL: 045(335)1001  
 FAX: 045(335)1019

横浜療育医療センター  
 横浜市旭区市沢町557-2  
 TEL: 045(352)6551  
 FAX: 045(352)9241

671-3566

横浜市健康福祉局障害支援課  
在宅支援係 行

申込期限：平成22年12月10日（金）

# 非医療職のための医療的ケア研修 受講申込書

- アンケートの整理があるため、受講申込書は受講希望者ごとに作成してください。  
（1事業所からの参加者を制限するものではありません。）

法人名（団体名）	事業所名称	事業区分	連絡先	
			電話	
			FAX	
			担当者	
受講者職種	受講者氏名		受講希望	
			第1日	第2日

\* 事業区分は、障害者支援施設、生活介護、ケアホーム等を記入してください。

\* 2日目のみの受講はできません。

Q1 現在、利用者に医療的ケアを必要としている人はいますか。

☐ いる ☐ いない ☐ 受入を検討している。

Q2 Q1で「いる」または「受入を検討」と回答した事業所は回答してください。その医療的ケアの内容はどのようなことですか。（複数回答可）

☐ たんの吸引 ☐ 経管栄養 ☐ 導尿 ☐ 薬液吸入  
☐ 経鼻咽頭エアウェイの挿入 ☐ 気管切開部のケア ☐ 人工呼吸器  
☐ その他（ ）

Q3 これまでに医療的ケアに関する研修を受講したことがありますか。  
「ある」と回答した場合には、主催団体、内容等を記入してください。

☐ ある ☐ ない

↓

○主催団体（ ）  
○名称、内容

Q4 医療職以外の職員が医療的ケアを行うことについて、課題となっていることや事業所内で話し合っていることがあれば記入してください。

ご協力ありがとうございました。